

2019 年度

(公財) 北海道サッカー協会 審判トレセン道南ブロックアカデミー 活動報告書

平石 暁史

○第 1 回

6月29日(土) (函館市)

【会場】 函館フットボールパーク 人工芝グラウンド / 第2クラブハウス中多目的室

【タイムスケジュール】

9:00 審判員集合 - 9:15 開校式 - 9:30 講義「ポジションング」 - 11:00 ブロックアカデミーについて
13:00 審判実技「高円宮杯 JFAU-18 サッカー2019 北海道 ブロックリーグ道南2部リーグ」
15:00 振り返り・フィードバック - 16:00 審判員解散

【参加者】 審判員2名 濱岡優太 (函館3級)・坂本泰心 (函館3級)

【インストラクター】 平石暁史 (審判トレセン道南ブロックアカデミー担当)

【オブザーバー】 山下浩司 (審判トレセン道南ブロック長)

○第 2 回

7月15日(月) (苫小牧市)

【会場】 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場 / 北海道苫小牧東高等学校会議室

【タイムスケジュール】

9:30 審判員集合 - 10:00 開校式 - 10:10 講義1「ポジションング」 - 11:00 競技規則改正について
13:00 審判実技「道南ブロックトレセンマッチ U13/U14/U15」(技術委員会と連携)
15:40 振り返り・フィードバック - 16:10 審判員解散

【参加者】 審判員3名 白石涼夏 (室蘭3級)・神野亮 (室蘭3級)・丑屋幸大 (苫小牧4級)

【インストラクター】 平石 暁史 (審判トレセン道南ブロックアカデミー担当)

三平富喜雄 (審判トレセン道南ブロックアカデミー担当)

【オブザーバー】 山下 浩司 (審判トレセン道南ブロック長)

志村 勝巳 (室蘭地区サッカー協会審判委員)

古曾部統太郎 (北海道レフェリーアカデミーマスター)

○第 3 回 集合研修

7月31日(水)~8月1日(木) (苫小牧市)

【会場】 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場 / 苫小牧市民活動センター研修室

【宿舎】 苫小牧市/ウィングインターナショナルホテル苫小牧

【タイムスケジュール】

<1日目>

8:00 審判員集合・開校式 - 10:00 審判実技「JCY インターシティカップ U15 EAST」 - 16:00 競技終了
17:00 夕食 - 18:00 講義1「気づき・予測」 - 19:00 講義2「アドバンテージ」
20:00 振り返り・フィードバック - 21:00 1日目日程終了・ホテル帰着

<2日目>

7:00 起床・朝食 - 10:00 審判実技「JCY インターシティカップ U15 EAST」 - 16:00 競技終了
16:00 振り返り・フィードバック - 17:00 審判員解散

- 【参加者】 審判員 5名 白石涼夏（室蘭3級）・神野亮（室蘭3級）・丑屋幸大（苫小牧4級）
濱岡優太（函館3級）・坂本泰心（函館3級）
- 【インストラクター】 平石 暁史（審判トレセン道南ブロックアカデミー担当）
三平富喜雄（審判トレセン道南ブロックアカデミー担当）
- 【オブザーバー】 山下 浩司（審判トレセン道南ブロック長）
鈴木 敏晴（室蘭地区サッカー協会審判委員会委員長）
古曾部統太郎（北海道レフェリーアカデミーマスター）

○第4回

8月7日(水) (八雲町)

【会場】 八雲町スポーツ公園陸上競技場 / スポーツ公園管理棟研修室

【タイムスケジュール】

10:00 審判員集合 - 10:10 開校式
11:00 審判実技「道南ブロックトレセンマッチ U13/U14/U15」（技術委員会と連携）
15:30 振り返り・フィードバック - 16:10 活動のまとめ - 17:00 審判員解散

【参加者】 審判員 4名 白石涼夏（室蘭3級）・神野亮（室蘭3級）
丑屋幸大（苫小牧4級）・坂本泰心（函館3級）

【インストラクター】 平石 暁史（審判トレセン道南ブロックアカデミー担当）
三平富喜雄（審判トレセン道南ブロックアカデミー担当）

【オブザーバー】 山下 浩司（審判トレセン道南ブロック長）
鈴木 敏晴（室蘭地区サッカー協会審判委員会委員長）

研修をふり返って

○アカデミー生 白石涼夏（室蘭地区所属3級審判員）

以前から私は動きが足りない、若さが足りないと指摘されていました。その時は何のことが実感することができませんでしたが、研修会に参加して同じことを指導され、ようやく理解することができました。動きの足りなさを克服するために、争点の近くで見ることを意識しすぎてプレーの邪魔になっていることが増えました。ですので、次年度は動きを維持したまま、もっと良いポジショニングを位置取れるように今後の課題として改善できるように頑張りたいです。

○アカデミー生 神野亮（室蘭地区所属3級審判員）

短い期間ではありましたが、インストラクターの方やオブザーバーの方たちにたくさんの指導をいただくことができました。今まで考えていたレフェリングとは全然違い、教えてもらったことを実践したら、判定やポジショニングに対しての考え方がすっかり変わりました。自分は中学2年なので、このまま次年度以降もアカデミーで勉強させていただくことができれば、とても恵まれた環境の中で課題を解決することができそうです。FIFAのレフェリーになれるように今後も頑張りたいです。

○アカデミー生 丑屋幸大（苫小牧地区所属4級審判員）

初めて参加したときに比べて、動き方やポジショニングなどの基本的なスキルが向上できたことを実感することができました。今後の改善点として、試合を通したペース配分や競技規則の理解、シグナルを出す位置やシグナルの際の肘を伸ばすことなど、細かいところまで追求していきたいです。所属している高校のチームにも教わったことを還元して、今後の審判活動をしていきたいです。

○アカデミー生 坂本泰心（函館地区所属 3 級審判員）

4 回の研修のうち 3 回の研修に参加することができました。1 回目の研修では高校生の試合でしたが、体力面でも走力面でも手ごたえを感じる事ができました。2 回目の研修ではクラブユースの全国大会でしたが、副審としてラインキープはできましたが、スプリントの点で課題を感じました。3 回目の研修では主審を務めましたが、ハーフタイムの際にファウルの基準や体力面で課題を指摘され、後半修正することを目標に最後まで集中して判定することができました。自分の課題は、ファウルの根拠を含めた競技規則の理解だと思えます。次年度に向けて自信をもって笛を吹きたいと思うので、日ごろから競技規則の理解を中心にレフェリングの勉強に力を入れていきたいです。

○アカデミー生 濱岡優太（函館地区所属 3 級審判員）

※濱岡くんにつきまして、高校 3 年生で就職試験準備と重なり、第 4 回の研修に参加することができませんでした。感想をいただいていませんが、このたび 2 級審判員試験に合格することができ、ブロックレフェリーアカデミーとしての活動に一定の成果をあげることができたのではないかと感じております。

○インストラクター 平石暁史（道南ブロックアカデミー担当）

新たな試みとしてスタートした初年度のブロックアカデミーでしたが、まずはこの活動を進めるに際し、さまざまな角度からご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ユース審判員を推薦くださった道南ブロックの各地区協会の方々、研修のための試合を提供していただいた 2 種委員会の指導者の方々や技術委員会の指導者の方々。また、全面的にサポートいただいた審判トレセン道南ブロック全体と北海道レフェリーアカデミーに心からお礼を申し上げます。

今年度は道南ブロック 5 名のユース審判員の参加で、アカデミーの活動を実施してきました。初年度ということもあり、活動内容の開発から進めなければならなかったことは少し大変な任務ではありましたが、いざ計画から立案して研修を進めていくと、ユース審判員の成長を私自身回を追うごとに感じる事ができ、指導者として審判員を育てる喜びを感じる事ができました。

また、実技研修を進めるにあたり、「高円宮杯 U18 道南ブロックリーグ」の協力をいただきました。技術委員会の道南ブロックトレセンにも協力をいただき、「道南ブロックトレセンマッチ」の試合も実技研修として活用させていただきました。選手の育成と審判員の育成を同じ場で実践できたことは、本当に感動的な機会でした。このような実践経験を積み重ねることで、レフェリーアカデミーとしての審判員育成のシステムが構築されていくことにもつながったと考えます。

次年度は 6 名の審判員がアカデミー生として活動を予定しています。今年度函館地区の濱岡くんが 2 級審判員に上申できたように、アカデミー設立の主旨である「2 級審判員へと育成できる Fast Track の場」となるように研修会を企画して進めていくと同時に、審判技術や知識の習得だけでなく、審判員としての資質や人間性を育てる場として活動していきたいと思えます。

